



FRUX 便り

VOL.16 2024.8

フルックスグループ
創業60年記念号

おかげさまで
満60年

【It remains Day 1.(未だ創業初日)】

Amazonの創業者であるジェフ・ベゾス (Jeff Bezos) 氏。彼が退任に際し、Amazonの人々に残したメッセージは有名です。【It remains Day 1.】です。直訳すると、「まだ創業初日だ」という意味です。

FRUXグループは1964年7月28日に創業しおかげさまで満60年になります。でもいつも「初日」の気持ちを忘れずにいたい。

Jeff Bezosは続けます。

"Keep inventing, and don't despair when at first the idea looks crazy. Remember to wander. Let curiosity be your compass. It remains Day 1."

“発明を続けてください。最初はアイデアがクレイジーに見えても落ち込まないでください。さまようことを忘れないでください。好奇心を羅針盤にしてください。今日はまだ「初日 (Day1)」なのです”

このメッセージを読み感動しました。

Panasonic(松下電器)の創業者である松下幸之助氏も同様の言葉を遺されています。

【日に新た】です。「日に新たやね、旧態依然はあかんねん」「今日は昨日のままであってはならない」という意味です。

FRUXグループの60期、61期のグループスローガンは、「自ら変革し新しいFRUXグループを創ろう!!」としました。

今年は奈良の2つの工場(馬司 & 池沢)を同時に大リノベーション工事をしています。完成は2025年3月末です。かなり大規模な工事であり、完成すれば日本を代表する「青果+惣菜」を具現化する工場になります。

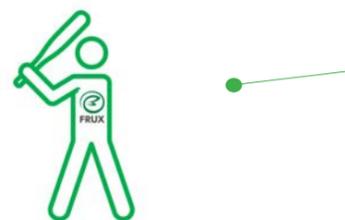
また、FRUXタウンの実現に向けて動き出しました。

FRUXグループは、さまざまな「種まき」をし、

さらに夢のある成長企業を目指すべくこれからも前進して行きます。

It remains Day 1.そして、Swing the Bat!! (STB!!)

FRUXグループ 代表 黒田久一



まいどのインスタはこちら

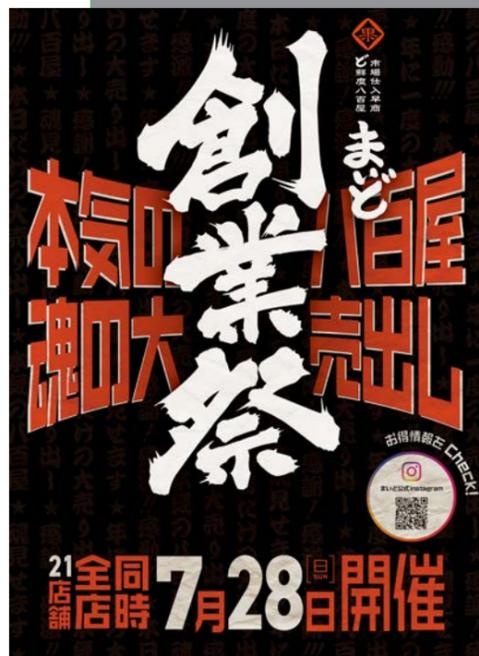
FRUX GROUP

Meal Solutions with Vegetables

青果 + 惣菜

7月28日まいど創業祭開催

7月28日はフルックスグループの創業の日。昨年に引き続き、本年度もまいど創業祭を開催。シャインマスカット・トマト箱売りなどを異常値価格にて販売しました。また、まいど店舗対抗の売り場コンテストも行いました。



売り場コンテストではフルックス社員が、3つの部門ごとに投票を行いました。
・迫力部門『ボリュームが凄いぜ!』
・色合い部門『キレイだよ!!』
・季節感部門『夏だね!!!』

当日は、朝から強い日差しが降りつける日となりました。開店前よりお客様が入口に並ぶなど、たくさんのお客様にご来店いただきました。まいど各店では、「売上を作る」「売場コンテストで1位になる」などの目標を掲げ、お客様に喜んでいただく売り場作りを行いました。だんじり祭りの提灯を使った飾り付けで祭りムードを演出した店舗、社員の似顔絵のイラストで店頭を楽しく夏らしく飾った店舗、商品をもっとすくいボリュームですようお願いします。

スーパーマーケットトレードショー2024

2月14日~16日 幕張メッセにて開催

今年は法被を新調し、スーパーマーケットトレードショー(SMTS)に参加。多くのお客様に弊社グループブースにお越しいただきました。2025年も参加を予定しています。



SMTS 動画はこちら



惣菜のわかる八百屋工場の工事のお知らせ

現在の馬司工場は17年前に完成しました。工場が手狭になつてきたこともあり、生産性と衛生面の向上、働く環境の整備のための工事が始まりました。また、池沢工場も、冷凍天ぷら生産増強のための工事が始まりました。惣菜のわかる八百屋の両工場を、引き続きよろしく願っています。

馬司新工場 正面からのイメージ図



馬司工場では社員食堂も新しくなります。また、味の大和路製造の商品も購入できるようになります。フルックス社員の皆様、どうぞ期待。



創業 60 周年記念旅行



感想をお願いします

1泊2日の弾丸旅行でしたが、ツアーの日程が上手く組み込まれており、名所各地を巡ることができ、様々な食事を楽しむことができました。特に印象的だったのは函館山の夜景、食に関しては活きイカの刺身を美味しくいただきました。個人的なことになりますが、2日目が誕生日だったため普段接することがない社員の方々とコミュニケーションを取り、とても有意義な誕生日を送ることができて嬉しかったです。



11月 函館コース

北へ南へ
行ってきました社員旅行!



2月 札幌コース



7月 沖縄コース



5月 淡路島コース



10月 東北コース



3月 富士山コース

幹事役さんより一言です

大変だと思っていましたが、みなさん協力し無事に終わることができて、良かったです。

感想をお願いします

なかなかお会いできる機会がない方とも楽しい時間を過ごせて楽しかったです。2日間ありがとうございました。

海外視察本格的に再開

Think Globally, Act Locally. Think Locally, Act Globally.

新型コロナウイルス感染防止により自粛していた海外視察を本格的に再開しました。昨年秋にサンフランシスコ視察、今年5月にテキサスダラス視察、そして6月には台湾視察を行いました。

日本惣菜協会 サンフランシスコ視察報告



サンフランシスコ視察報告はこちら



台湾視察 強く感じたのは台湾での日本企業の進出でした。



テキサス・ダラス視察



Uber を利用しダラスのスーパーマーケットを視察。H-E-Bの迫力に驚き、Trader Joe'sの買い易さを実感しました。

昨年5月より、全事業部の社員が6班に分かれて、社員旅行を実施。行先の変更、旅行中のハプニングなどもありましたが、無事に終了しました。5月の淡路島コースでは、あわじ花ざしきとうずしおクルーズを楽しみました。6月沖縄コースでは、沖縄美ら水族館で海洋動物に癒され、万座毛からの絶景を楽しみました。10月の東北コースでは、鳴子温泉に宿泊、世界遺産の中尊寺金色堂を見学しました。11月の函館コースでは、函館山からの夜景や朝市を楽しみました。2月の札幌コースでは、スノーモービルをブロン乗り回しました。3月の富士山コースは、雪が降る中での寒い旅行となりましたが、美味しい鰻などを楽しみました。幹事役として活躍していただいた社員の皆さん、色々とお世話になりました。

61期フルックスグループ入社式



3月29日第61期の入社式を開催しました。司会進行は、59期・60期入社社の先輩社員。今春入社社員と、60期入社社のキャリア社員が参加しました。お楽しみイベントは、恒例となってきたフルックスクイズ。先輩社員が作成したクイズを、式に参加した社員全員(社長から新入社員まで)で考えます。出題された青果物と惣菜に関するクイズは、難しいものも多く、頭を悩ませながら楽しんで答えていきました。

惣菜のわかる八百屋塾 第90回

5月21日 ホテル日航奈良にて開催。テーマは「外食産業の未来」でした。ロイヤルホールディングス株式会社 代表取締役会長 菊地唯夫氏による基調講演、菊地会長、流通科学大学商学部経営学科教授白鳥和生氏、弊社グループ代表黒田久一を交えたパネルディスカッションを行いました。講演会終了後は、弊社グループ創業 60 周年記念懇親会を開催いたしました。

【編集係より一言】1年ぶりのフルックス便りとなりました。コロナ明け後に作成の15号とは異なり、16号ではフルックスグループの活動を、広い範囲でお届けすることができました。これからも探索と深堀の2刀流の内容で最低年2回の発行を心がけていきます。どうぞよろしくお願いいたします。



新入社員 農業研修

今年も社会福祉法人青葉仁会さんの畑にて、新入社員農業研修を行いました。作業は玉ねぎの収穫です。収穫した玉ねぎは、びっくりするぐらい美味しい玉ねぎでした。青葉仁会さんお世話になりました。



「師をもつ」

田村光庸

「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ」という有名な格言があります。

これは鉄血宰相と呼ばれ、ドイツ帝国初代首相になったビスマルクの言葉です。

この言葉の意味は、何かを学ぶときには、自分の経験だけを頼りにするのはなく、過去の人(歴史)やほかの人の経験を自分に活用していくことが大切であるということです。私達の生活に当っては、考える、自分だけの経験に頼った偏った考えを持たずに、色んな人の意見を聞いた、本や歴史を司った偉人のアドバイスに耳を傾けて、人生を歩んだ方が豊かな人生を歩めるよということだと思えます。

私は、この会社に黒田社長のご縁でお世話になり17年が経過しました。以前、私は県中央卸売市場関連棟で小さな商店を経営していました。時流の流れにも乗れず、自身の未熟さもあり、自身の商売を廃業するという問題で大きく悩んだ時期がありました。特に、祖父が苦勞して始めた商売を自分の代で潰すことは、人生の中で最も大きい決断でした。幸い、私の周りには、普段から交流のある商売をされている先輩方がたくさんおられました。その当時の商売の状態、資金の問題、家族の状況について、取り引き先でもあった一人の先輩に相談に行きました。その先輩は黙って事の始終を聞き、私の想いにも耳を傾けていただき、私が心を整理する

最後に、新紙幣一万円札で脚光を浴びている、渋沢栄一翁の言葉を引用します。人格を磨くための方法や工夫は色々ある。仏教に信仰を求めるといっても、キリスト教から信念を組み込んでも一つの方法だろう。この点わたしは青年時代から儒教に志してきた。その始祖にあたる孔子や孟子と言った思想家はわたしにとって生涯の師である。



田村マネージャーは、技能実習生の皆さんに日本語などを教えています。「田村先生、これからもよろしくお願いいたします。」

